



薬草園-だより

No.70
Jan.16
2014

新年あけましておめでとうございます。

2014年、最初の薬草園だよりです。まだまだ寒い季節が続きますので風邪などひかれませんようご自愛ください。



どんな姿に咲き乱れてくれるのか、楽しみです!!

トックリラン(リュウゼツラン科)
別名:ポニーテール・ノリナ

茎の基部が膨らみ、徳利の様に見えることからこう呼ばれています。花は円錐花序に小さな花を多数つける。花は数十年に1度しか咲かないと言われていますが、ご覧のとおり花が咲き始めています!一見の価値はあると思いますので、是非薬草園へと足を運んでみて下さい。



←シャクヤク (ボタン科) 生薬:芍薬

薬効部位:根 薬効:鎮痙・鎮痛

「花の宰相」とこと芍薬の芽です。芍薬は立てば芍薬座れば牡丹歩く姿は百合の花」という諺があるように、茎は直立し華麗な花を咲かせてくれます。花期は5~6月ですので見にいらして下さい。

カワラナデシコ (ナデシコ科) 別名:ヤマトナデシコ→

生薬【薬効部位】:瞿麦(クバク)【全草】・瞿麦子(クバクシ)【種子】

秋の七草の一つ。花期は7~10月なのですが、一輪だけ咲いている花を見つけ、とても驚きました。そんな新たな出会いがあるのも薬草園の良い所。皆さんもいかがですか?



←ボウシュンカ (モクレン科) 生薬:辛夷

薬効部位:蕾 薬効:鎮静・鎮痛、を目標に鼻炎・蓄膿症に使用する。

開花直前の蕾を採取し生薬とする。ボウシュンカは中国原産で、漢字で「望春花」と書く。近縁種で辛夷として同様に使うコブシやタムシバと共に春を告げる花として知られています。

ガガイモ (ガガイモ科) 生薬:蘿摩子(ラマシ)→

薬効部位:葉・種子 薬効:強壯

果実は袋状で、熟すと側方で縦にさけ、舟型の2片に割れる。『古事記』には、大国主命(おおくにぬしのみこと)の国造りに協力した、少彦名神(すくなひこのかみ)が乗ってきた舟が、ガガイモの果実の莢(さや)だそうです。種子は絹糸状の長い毛が付いており、舟型の莢と相まって、面白い姿をしています。

